

図書館へ行こう！

淡窓図書館 ☎2497

こどもの読書週間のイベントを行いました！

たくさんのご参加、ありがとうございました



- えいごのおはなし会 6月7日(土) 午前10時から
- おいでよ！おはなし会
6月14日(土) 午後3時から
6月28日(土) 午前11時から
- おはなしのもり 6月15日(日) 午前11時から

1日館長体験の様子

こどもの読書週間(4月25日(金)~5月11日(日))に、三芳小学校6年生の児童が「1日図書館長」に任命されました。



感想

1日館長をしました。本や図書カードのバーコードを読み込んだり、本の中を確認したりしました。パソコンは初めて使ったけど、内容とかが分かってとても便利でした。最初は難しかったけど、頑張りました。スタンプラリーのハンコ押しやイベントのガラポンもしました。
館長はとても大変だったけど、良い経験になりました。

開館時間(日曜日、祝日は午後6時まで)
午前9時~午後7時

休館日(休日と重なる場合は翌平日)
毎週月曜日、第4木曜日、12月29日~1月4日



咸宜園教育研究センターだより



「咸宜園教育研究センター・世界遺産推進室」では、咸宜園や廣瀬淡窓、門下生等に関する調査研究を行っています。研究成果は、関連資料の展示や研究紀要を刊行するなどして公開しています。また、「近世日本の教育遺産群」の世界文化遺産登録に向けて取り組んでおり、各種公開講座を実施しています。

廣瀬淡窓が見た祇園祭

現代の祇園祭は7月に催行されることが多いですが、淡窓の生きた江戸時代では旧暦6月15日に祭礼が行われていました。幼少時の淡窓は、豆田町の廣瀬家を離れて伯父の月化が建てた別宅「秋風庵」(現在の咸宜園跡)で伯父夫婦と暮らしていました。祇園祭の際、豆田町を巡行する高い山車(山鉦)と、祇園囃子の笛や太鼓の音に驚いて急いで秋風庵に帰ったという逸話があります。当時の淡窓は静かな環境を好む、繊細な性格であったことが分かります。

また、18歳のとき現在の福岡市姪浜で亀井南冥・昭陽父子に学んでいた淡窓は、博多の櫛田神社に祇園祭を見に行きました。ところが到着が遅れたため祭礼は終わっており、近くのお店で待っていると、やがて6台の山車が巡行する様子を見ることができました。その光景を「疾風の如し、頗る壮観なり」と記し、日田の山車と比べて曳き手の数が多いため、巡行速度が異なると述べています。



咸宜園を
世界遺産に！

咸宜園教育研究センター・世界遺産推進室
【入館無料】淡窓2丁目2番18号 ☎20268
開館時間：午前9時~午後5時 水曜日休館
史跡咸宜園跡 受付時間：午前10時~午後4時



食生活改善推進員さんのおすすめレシピ

もずくとえのきの柚子胡椒スープ 【1人当たり 43kcal、食塩相当量 0.7g】



<作り方>

- ① えのきたけは石づきを切り落とし、3~4cmの長さに切る。
- ② かいわれ大根は根元を切り落とし、水洗いして半分の長さに切る。
- ③ もずくは食べやすい長さに切り、水洗いしてザルにあげる。
- ④ 鍋にだし汁を入れて沸騰したら、もずくとえのきたけを加える。
★の調味料を加えて再度沸騰したら、溶き卵を回し入れる。
- ⑤ 卵に火が通ったら器に盛り、好みの量の柚子胡椒を加える。
最後に、かいわれ大根を散らす。

<スープが濁らないポイント>

- ・溶き卵を加えるときは、しっかり沸騰したところに少しずつ入れる
- ・卵に火が通ってから、かき混ぜる

■材料■ (2人分)

- ・もずく 60g
- ・えのきたけ 50g
- ・かいわれ大根 7g
- ・卵 1/2個
- ・だし汁 350ml
- ★薄口しょうゆ 小さじ1/2
- ★みりん 大さじ1/2
- ・柚子胡椒 適宜



cookpad(右記二次元コード)でも
レシピを紹介しています。



手話で話そう

今月の手話③ 「防災」「避難」

今回の紹介者は、教育総務課の職員です。

動画も公開しています。
一緒にやってみましょう！



防災 ※「断る」「災害」という手話で表現します。



「断る」



「災害」

立てた左手の手のひらに、右手4指を直角に曲げて指先を付け、前へ押し出します。

左手の親指と小指を立て、甲を相手側に向けます。右手3指で災の字の部首「まが」かわ」を表現します。

避難



両手を握り、同時に素早く腕を動かします。このとき、緊迫した様子を表現しましょう。

災害への備えはできていますか？
4~7ページを見て、備えを万全にしましょう。

☎福祉支援課障害福祉係 ☎8290(市役所1階)

※手話表現は、地域や年代で多少異なる場合があります。